

◇ 編集後記 ◇

棲神五十九号をお届けします。

学園彙報にて申し上げました通り、本学園にとりまして永年の懸案でありました図書館建設が、いよいよ着工の運びと成り、新春一月二十三日大導師に法主猊下をお迎えして、地鎮祭が慶びの裡にも厳肅に奉行されました。無魔円成を祈念申し上げます。

もとより学園の施設等の整備には、教育・研究の体制や内容の充実が伴わねばなりません。その為の原動力が、絶え間ない教学研究や実践部門の研鑽にあるといえましょう。そして、かかる研究成果の一端を収めましたものが本誌であります。何卒今後共ご鞭撻を願う次第であります。ここに公私ご多端の折にもかかわらず、ご寄稿下さった先生方に厚く御礼を申し上げます。

次に慶事からご報告申し上げます。

本学々頭宮崎英修先生には、昨秋栄えある「勲四等旭

日小綬章」を受けられました。会員諸賢と共にお慶び申し上げます、併せて先生の益々のご健勝とご活躍を祈り上げる次第であります。なおその叙勲祝賀会が、旧臘十日東京品川のホテル・パンフィック「藤波の間」にて行なわれました。和やかな一夕でありました。

さて、本学園に長き間教鞭をお執りいただき昭和五十七年三月ご退職の疋田英隆先生には、去る十一月二十八日世寿七十四才を以て遷化されました。酒々落々とした会話の妙が偲ばれるところでありまして、謹しんで増円妙道をお祈り申し上げます。

当学園も一昨年からの停年制が施行され、堀一勇・筒井妙清の両先生がめでたく停年をお迎えになりました。ご法勞を深謝申し上げます。それより先、角田義尊先生にはご病氣の故を以て昨年六月ご退職になりました。心からご快癒を祈り上げるものであります。

編集後記とするよりも学園ニュースの観なきにしもあらずであります。ご寛恕の程お願い申し上げます。

(中條)